

かがやき



大久保小学校 学校だよりNo. 7

令和6年6月5日

文責 黒田 優一



いのちを見つめる集会

6月1日に「いのちを見つめる集会」を行いました。校長講話、黙祷、「輝きクローバー」の説明、「決意の言葉」の発表等の活動をとおして、いのちの大切さについて考え、自分を振り返るとともに、自分自身の生き方を見つめ直す学習を行うことができました。

校長講話では、次のような話をして、いのちの大切さを子どもたちに伝えました。

- いのちを見つめる日は、いのちの大切さについて考え、自分を振り返るとともに、自分自身の生き方を見つめ直す日です。
- 私たちはいのちがあるからいろいろなことができます。でも絶対に忘れてはいけないこと、それは、いのちは一人に一つしかないということ。だからこそ、私たちは、その一つしかないいのちを大切にしなければなりません。いのちを大切に、自分らしく今を一生懸命生きるのです。
- そのために大切にしてほしいことを二つお話します。一つ目は、「自分のよさを大切にする」ということです。皆さんには、一人一人によさがあります。自分のよさがあるということはとても素敵なことです。苦手なことやうまくできないことでも、がんばってみようと努力ができるということも立派なよさです。自分のよさに自信をもって、自分のよさを大切にしていきましょう。
- 二つ目は、「まわりの人を大切にする」ということです。まわりの人を大切にするためには、「感じる心」をもたなければなりません。まわりを人の気持ちを感じる心です。まわりを人の気持ちを感じて、まわりを人のよさを感じて、まわりの人を大切にしていきましょう。
- そのために、私たちはふだんから、頭や身体を鍛えるのと同じように、心を鍛えておかなければなりません。自分のよさを大切にする心、まわりを人の気持ちを感じる心、人を傷つけることは恥ずかしいことだと思える心。自分の心を鍛えていしましょう。そして、いのちを大切に、自分らしく今を一生懸命生きていしましょう。

子どもたちは、私の目を見て、しっかりうなずき、返事をしながら、真剣に話を聞いていました。また、校長講話のあとに、子どもたちは自分たちで考えた「決意の言葉」を発表しました。

【各学年の決意の言葉】

- 6年 最高学年として 差別のない学校にします
- 5年 自分のいのちも 周りの人のいのちも 大切にし 支え合う 5年生
- 4年 自分のいのちも みんなのいのちも 大切にします
相手を思いやり 一人一人がぴっぴかにかがやく きらきら4年生になります
- 3年 いじめや 差別のない 楽しい 学校にするために 友だちを 大切にします
- 2年 ふわふわことばと やさしいところで みんなの えがおを まもります
- 1年 いのちは ひとつ たいせつに します
えがおで がんばる やさしい 1年生に なります

6月の「いのちかがやく強調月間」の取組をとおして、この「決意の言葉」を実現できるように、子どもたちを励ましていきます。ぜひご家庭でもこの機会に、いのちの大切さについて親子で話し合ったり、いのちを大切にすることはどういうことか一緒に考えたりしていただければと思います。

大久保小学校一徳運動・・・気持ちのこもったあいさつと言葉遣いをしよう